

提出年月日： 令和元年 9 月 17 日

地方公共団体名： 鎌倉市

○提案内容

<p>(1) 実現したい都市のビジョン</p> <p>【総合計画のビジョン】 ・我が国を代表する「古都」としての歴史・文化とともに豊かな自然環境が本市の特徴であり、「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」を将来都市像とし、実現のため、持続可能な都市経営を進めている。</p> <p>【まち・ひと・しごと創生総合戦略のビジョン】 ・持続可能な都市経営を進めるため、「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」を目指すべきまちの姿とし、雇用の創出とともに、出産・子育てと仕事の両立支援を進めている。</p> <p>【SDGs未来都市のビジョン】※平成30年6月に国から「SDGs未来都市」として認定 ・共生・共創社会の実現、豊かなライフスタイルが実現するまちを目指している。また、鎌倉を中心に東京圏とは異なる「鎌倉・湘南」という新たな圏域の形成を目指している。</p> <p>【グリーンフィールドである「深沢地区のまちづくり」のビジョン】 ・深沢地区のまちづくりでは、「ウェルネス」のテーマのもと、人々のクオリティオブライフを向上させるための第1歩として、『歩く』ことに着目し、「ウォーカブル」なまちを目指している。 ・さらに、「ウェルネス」なまちの具体的な方向性として、『こころとからだの健康を育むまち』、『イノベーションを生み出すまち』、『あらゆる人と環境にやさしいまち』という、「まちの将来像3つの視点」を定め、まちづくりを進めている。</p> <p>【その他】 リビングラボをはじめとする市民・企業等との連携・共創、テクノロジーを活用した行政サービスの導入、鎌倉にふさわしい産業振興・人材集積のほか、「FabCity宣言」「パブリテック宣言」「鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会発足」などの先端的な取組を進め、多面的に「Society5.0」の実装を目指している。</p>	
<p>(2) 新技術の導入により解決したい都市の課題 ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)</p>	
<p>解決する課題のイメージ</p>	<p>課題の分類</p>
<p>【グリーンフィールドである深沢地区のまちづくり】 ・ウォーカブルを実現するために、地区内に歩行者中心の回遊ネットワークを構築するとともに、新たに設置予定のJR東海道線新駅と既存の湘南モノレール(駅—駅間約1.1km)をつなぐ交通手段を構築する必要がある。 ・周辺道路は、現状においても交通渋滞が多いため、新たにまちづくりを行う街区からの発生交通量を可能な限り抑制する交通施策を行う必要がある。 ・産業の集積を目指しており、災害時の事業継続を可能にするとともに、クリーンかつ常時の効率的なエネルギー利用を促すシステムが必要となる。 ・地区内に、市役所本庁舎、消防本部の移転を予定しており、市の防災拠点として機能する必要がある。特に、洪水浸水については、年超過確率1/1000の超えるような降雨に対しては、ハード対策以外に、効率的な避難行動を促すようなソフト対策が必要。 ・市内高齢化率が高い中で、健康寿命を延伸していく必要がある。 ・市内からの企業転出が懸念される中、企業誘致に努め、最先端ヘルスケア産業の集積地という目標を達成するための地区のポテンシャル向上を図るとともに、雇用の創出につなげる必要がある。</p>	<p>ア、カ ア、コ イ、シ ウ カ カ、シ</p>
<p>【古都の観光地である旧市街地などのブラウンフィールド】 ・市域の広い面積で緑地や古都の景観を保全する法網がかかっているほか、地形的な特徴からも道路整備が困難な中で多くの観光客が訪れており、交通渋滞対策が必要とされている。 ・人口減少による人手不足や市民の利便性向上のため、行政サービスにおける申請事務・手数料支払いの電子化を進める必要がある。 ・高齢者や障害者をはじめ、様々な福祉的課題を抱える市民が、ICT等を活用し、ライフステージに応じた福祉サービスを利用できる仕組みや、住民同士が支えあえる仕組みづくりが必要。 ・年間を通じ、外国人を含む多くの観光客があり、市民だけでなく観光客や文化財を災害から守る必要がある。観光公害対策の面からも、年齢、性別、障害等の有無、国籍など多様なニーズに対応できるよう、的確な情報収集・情報発信が必要。</p>	<p>ア、オ、シ キ、シ カ、シ ウ、オ</p>

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

現在プロジェクトで検討中だが、現時点で以下の技術が候補となっている。

- (1) 通信ネットワーク技術とセンシング技術
 - ・センシング技術による人流・交通解析(渋滞緩和、観光客分散化対策などを想定)
- (2) 分析・予測技術
 - ・AIを活用した観光客動線や渋滞の分析、予測
- (3) データ保有
 - ・ウェアラブルデバイスによるバイタルデータ測定と蓄積、地域のヘルスケア産業や医療機関等との連携による各種健康データの蓄積及び利活用、既存の市オープンデータ活用
- (4) データプラットフォーム
 - ・データプラットフォーム構築による各種データの一元化、連携、AI解析
- (5) データの活用(可視化技術等)
 - ・3Dモデリングによる各種シミュレーション実施=近日中に着手予定
- (6) (1)~(5)を活用した新たな応用技術
 - ・各種健康データを統合したAI解析(県下トップレベルの高齢化への対策)
 - ・ドローン技術活用(交通不便地対策、谷戸地形における安全対策、など)
- (7) その他
 - ・リビングラボ(デザインシンキングによる製品やサービスの創出)=すでに鎌倉市内で研究開発・運用済み
 - ・フィンテック(行政手続きを含む市内でのキャッシュレス化)=企業との協定締結などにより検討、推進中
 - ・自動運転、Maas、スマートモビリティ(新たな開発における導入、高齢社会における交通不便地対策)
 - ・キャッシュレス、無人店舗(人手不足対応)
 - ・行政手続きのワンストップ、オンライン申請、電子政府化
 - ・街区単位のエネルギー融通システム、コージェネレーションシステムなどの導入
 - ・センサーを活用した河川増水や街区内における溢水情報の把握、周知、地域住民との情報共有システムの構築
 - ・防災や下水道施設など都市インフラの遠隔モニタリングとアラート、携帯電話へのプッシュ配信など
 - ・遠隔医療、AI診断、認知症対策、介護へのIoT技術導入など

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

現在プロジェクトで検討中だが、現時点で以下をイメージしている。

【グリーンフィールドである深沢地区のまちづくり】

- ・自動運転による駅-駅間の交通手段の確保。
- ・センシングによる交通量調整で、ウォークアブルなまちを実現する。
- ・居住者、来訪者の健康データを収集し、地域のヘルスケア産業や医療機関等との連携のもと新たな技術を生み出す。さらに企業と行政との共創によって新たな施策を市民に展開することで、健康寿命の延伸を図るとともに、雇用を生み出す場とする。
- ・新たに移転建設する新市庁舎において、SNSによるデータプラットフォームの活用やセンシング技術の活用などにより、地域としての災害対応能力の向上を図ることはもとより、防災拠点としての機能確保を図る。
- ・新市庁舎において電子政府化を推進するため、フィンテックやオンライン申請技術の導入を図る。

【古都の観光地である旧市街地などのブラウンフィールド】

- ・自動運転やMaasなど、次世代モビリティの活用や3Dモデリングにより、市民・来訪者の快適な移動環境を創造する。
- ・行政サービスにおける申請事務・手数料支払いを電子化し、市役所に行かなくても各家庭のスマホやコンビニエンスストアから必要な手続きを行えるようにする。
- ・ドローン技術の導入により、交通渋滞による不便、不安を解消(緊急車両の到着遅延をカバーするため、AEDをドローンで現場に運搬する、患者をドローンで移送するなどを想定。)
- ・様々な住民同士の支えあいを実現するため、顔や車のナンバー認証などの画像解析や、スマートフォンの活用による見守りあい、臨床・投薬履歴データベースによる未病レシピの活用、アバターによる社会参加の実現など。
- ・センシングや監視カメラ画像解析、ドローンの活用、スマホへのプッシュ配信などによる災害対策の推進。

(5) その他

【先行してシステム導入を行いたい地域】

野村総研跡地・・・市が寄付を受けた用地の活用について、民間活力によるスマートシティとしての整備活用を検討中。令和元年度プロポーザル実施予定。

鎌倉駅を中心とする中心市街地・・・年間200万人を超える観光客を受け入れる地域でのオーバーツーリズム対策。

【既に構想中、実施中のプロジェクト】

深沢地域・・・鎌倉市に残された最後のグリーンフィールドであり、面積は約31ha。スマートシティとしての整備の方向性を含むまちづくりのコンセプト等を、外部有識者を含めた委員会で検討中。

鎌倉スマートシティ構想・・・上記深沢地域を含む鎌倉市全体のスマートシティ化に向けた構想を、庁内横断的なプロジェクトチームにより検討中。

※先行してシステム導入を行いたい地域や、既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、(5)にご記入ください。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名

担当者

連絡先(電話)

連絡先(メール)

共創計画部 政策創造課	伊藤 沙織	0467-23-3000	souzo@city.kamakura.kanagawa.jp
-------------	-------	--------------	--